

確認強迫性目覚まし時計

4年情報工学科 プログラミング応用制作物 4CS 岡崎正樹, 雨宮永, 大堀達基, 青島一理

制作物の眼目

- ・爆弾解体作業を模倣した爆弾処理班さながらのアラーム解除機能により, 使用者を早朝に強い人物へと再教育する。
- ・たるんだ神経を矯正し、野生の危機管理能力を呼び覚ます。
- ・時計に頼らずとも、計画的行動を推し量る人物に変貌させる。
- ・時間と心の余裕を鍛え、他者に優しく、自己に厳しくあれ。

メソッド及び概要

Raspberry pi でアラーム設定プログラムを実行することで、プログラム中で設定した周波数の音が、設定した時間に圧電スピーカーによって鳴動される。また、SSH 接続した携帯端末よりアラーム時間の登録及び解除も常時行える。

また,当制作物の回路にはダミーの配線が張り巡らされているので, アラームを停止させるには,

Raspberry pi と圧電スピーカーを繋ぐ正しいワイヤーを撤去,もしくは 切断する必要がある。

アラーム音はアラーム設定プログラムで設定された周波数に従ったもので,周波数の単音から、周波数に直した楽曲も再生可能である。

グローバル的展開

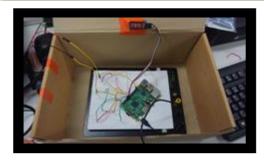
当製作物はグローバル思考に基づき,海外青年隊協力隊から派遣社員,

世界を渡り歩くカメラマンやジャーナリスト、PMC、外人特殊部隊隊員の要望に応えるべく、各国の標準時間に

容易に設定することが出来る。

ディスプレイを接続した Raspberry pi のターミナルより逐次変更が可能であり、7 セグメント LED の表示も同

構成物全体図



ダミー配線及び7セグメントLEDに 注視した全体図



圧電スピーカーに注視した全体図